

道レクだより

2023. 2. 1
第49号



発行：北海道レクリエーション協会 発行人：会長 蔵満 保幸
〒002-8071 札幌市北区あいの里1条7丁目2番13号 星 芳広 方
TEL: 011-792-8151 FAX: 011-594-8422 E-mail:hokkaidorecreation@do-rec.sakura.ne.jp
URL:http://www.do-rec.sakura.ne.jp/



Smile for all



～すべてはみんなの笑顔のために～



ひら レクの未来を拓こう



3年ぶりの北海道レクリエーション大会

北海道レクリエーション協会の未来



北海道レクリエーション協会 会長 蔵 満 保 幸

10月1日～2日に3年ぶりに開催されました北海道レクリエーション大会、ご参加の皆様と笑顔でお会いすることができて、あらためて対面で活動することの大切さを実感致しました。

皆様のご理解、ご協力に感謝致します。ありがとうございました。

2020年から始まった新型コロナウイルスのパンデミックはまだまだ終わりがみえません。

世界的規模での気候変動に伴う自然災害や地震の多発など、これまで経験したことのないような事態が次々と起こっています。そのたびに人々は知恵を出し合い協力して困難を克服してきました。

その原動力は、「この困難な現状を何とかしよう」、「一人ひとりの力は小さいけれど意見を出し合い協力して創り上げていこう」というような強い心やコミュニケーション能力だと思います。この頑張ろうとか協力し合おう、困っている人を助けようなどの強い心、優しい気持ちなどは学力に対して心の力(非認知能力)として高く評価され、特に幼児期に多くの仲間と良く遊ぶことで育まれます(ペリーとヘックマンの実験と理論より)

実は同様に我々大人も日々の生活の中で人と接することで非認知能力が高まります。特に複数の人と話す、軽い運動をする、カルタなどのゲームをすることは効果が大きいのです。逆にいうと一人で話もせず、運動もしないと非認知能力が低下してしまいます。

コロナ禍の今、家でこもりがちな生活が続いています。心の健康を維持するためにも人と人を結ぶレクリエーションは益々重要になると思います。会員の皆様、ご自分と地域の皆様の健康づくりに新しいレクリエーション活動を進めていきましょう。

今年度の事業から次年度の事業へ～事務局より～

(1)レクリエーション・インストラクター養成講習会は、道レク主管で行う最後の講習会となりました。

参加者微増の傾向でしたが、2年間開催できなかったことが要因かも知れません。根本の課題が解決されたわけではないので、引き続き注意深く事業運営をして行かなければなりません。

次年度からは、札幌レクリエーション協会に事業委託し行います。本年度後半から開催の予定でしたが、コロナ関連で施設が急に使用できなくなり開催を断念した経緯があります。次年度は、理論9時間の通信教育利用だけでなく、日本レクリエーション協会との協働事業として開催予定です。講習会参加者がより参加しやすくなる形となります。



(2)北海道クップ大会も3年ぶりの開催となりました。開催が縁で、テレビ番組の取材を受けました(HTB イチモ二)。これを機に

アナウンサーのお二人



少しでもクップが普及すればと思っています。

また、道レク大会でクップ普及指導員となった面々が早速クップに取り組み、盛り上がりを見せているという話も耳にしているため、一緒に普及活動をしていきたいと思っています。(左の写真はイチモ二取材の際、札幌国際大学にて撮影)


(3)第31回北海道レクリエーション大会は3年ぶりの対面での大会となりました。懐かしさに心震わせた2日間でした。この大会を

WEBで実施したとしたら感動は半減することはいうまでもありません。人どうしが交流を深める最たるものが何であるか、改めて再確認できた大会だったと思います。しかし、波を繰り返す新型コロナを無視することはできません。これからも感染リスクを最小に抑えながら、進めて行きたいと思っています。

次年度はレク・インストラクター養成講習会、クップ大会、第32回北海道レクリエーション大会の実施を考えています。

環境を取り巻く様々な課題にアプローチするというよりも、まずはコロナで事業への参加が出来なかった方々に安心して事業に参加していただける環境を整えて行きたいと思っています。また、レク・インストラクター養成講習会に誘うためのレク・サポーター養成講習会を開催するための講師養成講習会の開催も視野に入れ、少しずつ前進できればと思っています。

《 2022年度主催事業 》

インストラクター養成講習会	フォローアップ講習会	北海道カップ大会
6月25・26日 札幌留学生交流センター		7月18日札幌国際大学
		 クップ初体験…後日イチモ二取材決定
<p>最後の道レク主管インストラクター養成講習会となりました。人材育成グループ長として16年間レク・インストラクター養成講習会を担当し、沢山のインストラクターを育成してきました。組織は人材育成です。今年度後半から養成講習会は札幌レク協会が担当することになりました。今後の人材育成を祈念します。 (人材開発委員会 委員長 川口 宣広)</p>		
<p>皆様のご協力で、令和4年度のフォローアップ講習会も無事に終わることが出来ました。講習会の情報はネットから得ていることがわかりました。また、参加の理由はお仕事で生かしたい、今後の目標のためにさらに学びを深めたいというお話でした。今後ともお役に立てるよう努めます。 (組織強化委員会委員長 寺腰 一美)</p>		

第31回北海道レクリエーション大会in札幌 2022

10月
1日

RECREATION FOR ALL!

10月
2日

3年ぶりの開催 道レク大会 無事終了 事業委員会 委員長 松本伸吾

「RECREATION FOR ALL 第31回北海道レクリエーション大会 in 札幌2022」は、10月1・2日ホテルノースシティを会場に開催。開会式後、「個人功労賞・奨励賞」「団体功労賞」表彰式を行い、全体会！体を動かし、頭を使い、手を使い製作するなど充実した内容でした。情報交流会では、久しぶりにお会いする方々と交流し恒例の協会得意のパフォーマンスも披露されました。

2日目の全体会「資格取得のクップ研修」、中島公園を存分に味わう「道レク・札幌70周年記念ウォークラリー大会」でした。今回は会場が変更になる等課題がありましたが、北海道及び札幌市のコロナ感染予防対策を遵守しながら無事に終わりました。2日間の参加者は延べ155名で、実り多い大会となりました。ご支援、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

10月1日 開会式・表彰式・全体会・交流会 場所 ホテルノースシティ

全体会 1部…人生100年～年齢に関係なく優美な太極拳動作を楽しく実技

全体会 2部…時代のニーズに応える～レクリエーション効果のEVIDENCE

全体会 3部…工夫と創造の楽しい世界～手作りゲームのいろいろ

講師 ・ 1部 … 矢野美恵氏 ・ 2部 … 本多理紗氏 ・ 3部 … 椿原宏哉氏



10月2日 全体会 場所 ホテルノースシティ ・ 中島公園

全体会 4部…クップ普及指導員資格取得ができる研修 講師 … 星 芳広氏

全体会 5部ウォークラリー道レク・札幌70周年記念大会 講師 … 札幌レクリエーション協会



令和4年度北海道レクリエーション協会長表彰

～ 功 労 賞 個 人

川 口 宣 広 氏 (中空知レク協会) ・ 長 崎 恵 子 氏 (とうや湖レククラブ)

～ 奨 励 賞 個 人 ～

高 木 恵 美 氏 (旭川レク協会) ・ 安 田 ヨ シ 氏 (札幌レク協会)

野 澤 信 子 氏 (NPO法人函館レク協会)

(記念品)

～ 功 労 賞 団 体 ～

とうや湖レクリエーションクラブ



札幌・藻岩窯 陶遊
葉原 裕久 作



大会の様子



感染対策もバッチリ…。



31回道レク大会 蔵満実行委員長



全員、マスク着用で参加しました。



第1部講師 矢野 美恵氏



第2部講師 本多 理紗氏



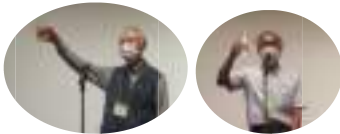
第3部講師 榎原 宏哉氏



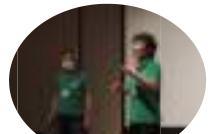
第4部講師 星 芳広氏



第5部ウォークラリー 札幌レクリエーション協会と参加者の皆さん



3年ぶりの交流会、皆さん笑顔で大ハッスル！



功績を讃えて

令和4年度レクリエーション普及振興功労者表彰(全国表彰)



全国表彰をいただき皆様に厚く御礼申し上げます。

職場のレク担当会議に参加して感銘を受け23歳の時に資格取得、当時は内田正博、松坂教授、佐藤洋子、渡辺暉子、臼井弘二さん他蒼々たる先生方にレクの真髄を教わりました。今後もレク活動普及に邁進します。

(札幌レクリエーション協会)

小田正則氏

江別レクリエーション協会

西原恵子氏



レクリエーション指導者養成講座を受講し、楽しく魅力的だったことからレクリエーション活動にハマりました。

道レクの生涯スポーツ推進委員長となり、ニュースポーツの実技研修会やフェスティバルを毎年いろいろな協会のご協力を得て実施させていただいたことが、思い出に残ります。

今回の受賞に感謝し、道レクや函館でレクリエーションの灯を消さないよう地道に活動してまいります。

ありがとうございました。

(NPO法人函館レクリエーション協会)

松本伸吾氏



レク仲間のひろば

レクの未来を拓こう … 加盟団体から (含む事業グループ)

◇ 江別レクリエーション協会 代表者 西原 恵子 事務担当者 浦 令美 011-383-3988

～「わらしべウォーク」で秋を感じる～ 11月に入りすっかり秋、今日は外に出での例会です。
1本のわらしべ(今回はイチヨウの葉)から自然の落とし物と交換し、自然観察をしながら秋を満喫しました。これからも、コロナ禍であっても「今日行くところ」「今日の仕事」の場作りを積極的に取り組んでいきたいと思っています。



◇ 函館レクリエーション協会 代表者 野澤 信子 事務担当者 松本 伸吾 0138-56-6418

市民対象の「げんき塾」や「会員研修会」を開催しています。今まで函館で開催していた「レク・インストラクター養成講座」は参加希望者が2～3名のため近年開催できませんでした。なんととしても函館のインストラクター養成講座の灯を消してはならないと試行錯誤しています。来年度は日レクの「インストラクター養成講座の通信」を活用し、個別指導や「げんき塾」や「会員研修会」等を組み合わせながら、希望者2～3名でも「インストラクター養成講座」を実施できるよう検討を進めています。



◇ ケアレクリエーション倶楽部 代表者・事務担当者 南部 広司

介護現場でもコロナ禍を意識し、レクが再開されつつあります。
行動範囲の制限により下肢筋力の低下から介護認定を受ける高齢者も増加してきています。
住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくためにも「Stop The フレル」を意識したレクを展開していきます！(写真:南富良野町社会福祉協議会デイサービスセンター職員研修会より)



◇ 岩見沢レクリエーション協会 代表者・事務担当者 矢野 美恵 0126-24-0205

当協会は「街を元気にする」イベント活動や高齢社会を明るくする為、わらべ歌遊び等心も元気になるプログラム企画を楽しんでいます。スポーツレクのキャッチゲームも基本を楽しんだ後キャッチする教材を創意工夫し、「脳・指・体」の活性化に取り組み、体力づくりの気功や太極拳を通してリハビリレクを楽しんでいます。
レクの未来へつなぐ事で支援者が楽しめる事とアイデアを何通りもでき、対象者に応じたレクと一緒に楽しむ教育ではなく、支援でつないでいきたい。



◇ さっぽろレク・ラボラトリー協会 代表者・事務担当者 長江 孝 011-398-3150

夏の活動が始まる前の5月に日常での緊急時における救急法の講習会を小樽自然の村にて開催しました。CPR や様々な状況に合わせた応急処置についてシミュレーションを交えて学んだ1日。受講者全員が試験に合格し、エマージェンシー・ファースト・レスポンス「子どものためのケア」コースの国際ライセンスを取得することができました。



◇ 七飯レクリエーション協会 代表者 佐藤 孝行 事務担当者 佐々木 尚孝 0138-65-8957

当協会もコロナ禍の影響で活動範囲が少なくなっています。
福祉施設の訪問は全くなくなりましたが、今年度は子ども達や高齢者とレクやクラブ等を楽しみました。



◇ 中空知レクリエーション協会 代表者・事務担当者 川口 宣広 0125-62-6135

令和4(2022)年度 中空知レクリエーション楽園(前期・後期)

「心の元気」をテーマにレクリエーション G・S・D、クラフト、ニュースポーツ、歳時におけるレク財提供、理論ほかバラエティに富んだ、あそびと学びの楽しい広場として開催。今年度は、ウィズコロナとして全国的にもイベント等の規制が緩やかとなり、当協会としても地域と共に少しずつ活動の範囲を広げている現状です。まだまだコロナとの攻防は続きそうですが、これまで同様、コロナ感染症対策に万全を期し、活動を一步一步進めてまいりたいと考えております。

* インストラクターの資格取得に必要な履修カードの一部単位取得が可 *



次年度への抱負

地域に『心の元気』を広げます!

みんなに笑顔の応援隊

中空知レクリエーション協会

◇ レク・ネットワーク北海道 代表者・事務担当者 平賀 勝麿 01547-2-5458



北海道内で地域協会がない地域やレクリエーション活動者の情報交換などレクの楽しさを追求する活動を主とした当会は、各地域で各会員が活動しており、本年は久しぶりに北海道のへそである富良野市に集まり、「北の国からの五郎さん」こと田中邦衛さんを偲びながら、各会員の活動状況やレクに対する情報交換を実施しコロナ禍の中でのレク活動について和気あいあいと楽しい研修を実施しました。

2023年も『すべてはみんなの笑顔のために』を合言葉にコロナに負けないよう頑張っていきたいと思っています。

◇ 北海道クップ協会 代表者 蔵満 保幸 事務担当者 星 芳広 011-374-1923

本年度は北海道レクリエーション協会のクップ大会運営、協力及び道レク大会で普及指導員養成講習会に取り組みました。

11月に、日本クップ協会が一般社団法人として初の全国大会が開催され、東京都立川市国立昭和記念公園を舞台に、参加チーム48チームによる熱戦が繰り広げられました。残念ながら北海道からの参加はありませんでしたが、次年度から道レク加盟団体の中から何とか1チームは参加してほしいと思っています。



また、今年は、日本クップ協会関係者が初めて世界大会に出場しました。(スウェーデン、ゴットランド島)これを機にルールを世界基準に改め、来年度から正式採用されます。日本クップ協会では、都道府県クップ協会に続き、市町村にクップ協会を設立することを進めていきます。北海道としても、クップ普及指導員養成と併せて進めていければと思います。

◇ 北見レクリエーション協会 代表者 大野 智也 事務担当者 市川 恵子 0157-22-0735

3年ぶりの「環境フェスくるるん北見」に始まり、協会独自事業の「健康スポーツレクリエーション広場」では、笑いストレッチ、スポレク、タクスポ、最終のウォークラリー交流まで、参加者と元気を育てる貴重な活動となりました。公民館講座「元気をつくるレクリエーション」は指導者会員総出で取り組むことができました。次年度も市民と元気をつくるレクを届けます。



事業グループ 楽笑元気広場

(笑いヨガとスポレク・レクダンス)

広い場所を借り切って、窓を開けながらお互いコロナに留意して、「心も身体がすきっとする」などと月2回元気な高齢のメンバー20人前後が毎回集まって、休むことなく活動しています。



◇ 札幌レクリエーション協会 代表者 小田 正則 事務担当者 伊藤 雅子 011-823-3223

令和5年度から北海道レクリエーション協会の委託を受けて、レク・インストラクター養成講座を開講することになりました。



まだまだコロナ禍は収まりませんが、感染対策を講じ、元気よく実施していきます。

10/29・30に <<チ・カ・ホ>>北2条交差点広場で札幌市社会福祉協議会DX~人と人のつながりがイノベーションを生み出す市社協のマスコットキャラクター「まもりん」のパネル展で「まもりん」とアートバルーンを作りました。



◇ とうや湖レクリエーションクラブ 代表者 青木 佐智子 事務担当者 齋藤 敬子 0142-76-3192

当クラブはお陰様で創立15周年を迎えました。

未熟な私どもを支え、導いて下さった各諸団体の温かいご支援の賜物と感謝いたします。

又、この度は北海道レクリエーション協会から団体功労賞をいただき有難うございます。

今までのレククラブ単独事業、町教委との共催をはじめ、地域参観での講師を含め、

子どもから高齢者まで多岐にわたり幅広い活動を行うことができました。

役員のみだけでなく各会員の協力の下での受賞と有難く思っています。コロナ禍の中でも少しでも、会員相互の交流を縮小しながらも続けています。今後も体も心も無理せずに今、できる事を楽しんで活動していきたいと考えております。



◇ 千歳市レクリエーション協会 代表者 佐久間 良和 事務担当者 熊谷 邦子 0123-24-1736



各地で行事再開、当協会も3年ぶりの「生涯学習フェスティバルふるさとポケット」ステージで「しばてんおどり」の発表後、アンパンマン他で観客等をリードし会場を盛り上げました。コロナ第8波近しの中、会員間で新しいゲームや遊びなどについて相互に研さん、発表し合っています。早くマスクなしで歌って、ゲームなどではしゃげるとイネ。今は、たくわえの時、もう一寸ガマンですね。

◇ 十勝帯広レクリエーション協会 代表者 千葉 養子 事務担当者 棚瀬 佳裕 0155-25-1455

今年は、3年振りに(JICA 植樹~カミネッコン・バイオブロック工) 海外の10名の方々に指導させて頂きました。

今年で15年目になります。いずれは、十勝帯広レクの事業としても取り入れ、地域に役立つ事を願っています。

又、お世話になりました「ディスコン」は今年度より、「帯広市スポーツフェスティバル」に参加できるように市役所スポーツ課にご配慮いただき、10月10日(祝)38名の参加を得て無事終わりました。



「ねんりんピックかながわ2022」ウォークラリー準優勝

新型コロナで3年越しの開催となった「ねんりんピック神奈川」

11月15日、座間市でウォークラリー交流大会がありました。

秋晴れの中、アップダウンのある約4.5kmの「ひまわりコース」に全国より43チームが2コースに分かれて参加！北海道から参加した5名「北の大地の仲間たち」が準優勝しました。

(左から) 本田勝樹(湧別町)・大石久美子(洞爺湖町)・木村司(白老町)
木村幸枝(旭川市)・佐藤宮子(北見市) (表彰式後撮影)



【市町村団体】

団体名	責任者	事務担当者	連絡先
旭川レクリエーション協会	矢萩 忠	中川 浩 樹	0166-57-6760
恵庭レクリエーション協会	佐藤 洋子	小黒 千秋	
釧路レクリエーション協会	引木 剛	白川 和 希	0154-68-5079
斜里レクリエーション協会	高橋 佳 宏	高橋 佳 宏	0152-23-2997
白老町レクリエーション協会	小野 英 夫	木村 司	0144-82-4632
後志レクリエーション協会	武田 斉	丸山 泰 秀	0135-72-1181
伊達レクリエーション協会	高畑 満	船田 辰 雄	0142-23-0986
苫小牧レクリエーション協会	斎野 伊知郎	椿 勇 喜	0144-73-4509
登別レクリエーション協会	山田 新 一	荒生 勇 司	0143-86-8636
南十勝年輪レクリエーション協会	鳥倉 輝 夫	鳥倉 輝 夫	0155-67-2170
室蘭レクリエーション協会	沼田 俊 治	中村 宇太子	0143-27-3643
(休会)中標津レクリエーション協会	小野寺 学	小野寺 学	0153-72-4259
(休会)しべちゃレククラブ	柳田 久子	柳田 久子	015-485-2228

【種目団体】

団体名	責任者	事務担当者	連絡先
(公社)日本3B体操協会北海道支部	山田 玲子	山田 玲子	0134-24-5530
北海道トランポリン協会	松木 謙公	奥村 敏 宏	090-3772-6263
北海道フライングディスク協会	三井 由貴子	佐藤 貴 志	011-885-2813
北海道ミニバレー協会	小島 秀 俊	佐藤 圭 太	011-807-4827
北海道レクダンス研究会	佐藤 洋子	佐藤 洋子	0123-32-2762
北海道パークゴルフ連絡協議会	鈴木 稔	谷垣 俊 樹	0144-72-1083
オーシャンドリームティボール実行委員会	前田 一 男	三井 覚	0138-50-3240
(休会)北海道スポーツチャンバラ協会	前田 毅	西成田 早 苗	0144-31-5733

【領域団体】

団体名	責任者	事務担当者	連絡先
北人の会	山口 悟	寺腰 一 美	011-522-8641
北海道レク課程認定校協議会	蔵満 保 幸	新井 貢	011-881-8844

北海道レクリエーション協会 代表者 蔵満 保幸／事務担当者 星 芳広
 〒002-8071 札幌市北区あいの里1条7丁目2-13 星 芳広方
 TEL 011-792-8151 FAX 011-594-8422

編集後記

今年は、道レクでも3年ぶりに事業が行われました。コロナ禍の中、感染対策をしながら、各地でもイベントが行われ久しぶりの解放感を味わいました。道レク大会や各地域の様子をお知らせできるよう編集を心がけました。令和5年度も今年度以上に明るく楽しいレク活動で、レクの未来への道筋をつけていける事を願っています。各レク協会、加盟団体の皆さま！レクの未来に向かって頑張りましょう。(広報委員会 熊谷・三浦・伊藤)

